

活動拠点「みなのんち」を中心としたコミュニティ活性化とICT活用による便利なまちづくり

概要 地域の賑わい創出やデジタル技術を活用した住民の利便性向上などを産学官の連携により推進するとともに、持続可能なまちづくりへの住民参加を促進し、住民の幸福度向上を目指す。

課題

- ・人口減少、少子高齢化による地域活動の担い手減少
- ・地域の賑わい低下と地域コミュニティの希薄化
- ・地域における災害時の対応力低下

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	中心市街地の賑わい創出と住民参加による「住んでみたい、住み続けたい」まちづくり	R12	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存施設をコミュニティスペースとして機能強化し、地域の活動拠点として活用 ● 産学官の連携による住民等のまちづくりへの参加促進と地域コミュニティの活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き店舗等の活用
スマート	町民ニーズや地域の実情に沿ったデジタル社会の実現	R12	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル技術を活用したコミュニティスペースの利用促進 ● 地域おこし協力隊によるデジタルデバインド対策講座や地域DXの取組強化 ● 官民連携によるICTを活用した健康づくり ● 行政手続きの電子化による利便性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル技術を活用した施設管理 ● 地域中小企業のDX推進
レジリエント	災害時でも途切れない電源の確保と地域コミュニティの強化によるレジリエンス向上	R12	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時に安心を提供できる拠点としてのコミュニティスペースの活用(蓄電機器の設置による非常用電源の確保) ● 交流機会の提供による地域コミュニティの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常用電源の確保・設置

活動拠点「みなのにち」を中心としたコミュニティ活性化とICT活用による便利なまちづくり

コンパクト

- 既存施設をコミュニティスペースとして機能強化し、地域の活動拠点として活用
- 産学官の連携による住民等のまちづくりへの参加促進と地域コミュニティの活性化

スマート

- デジタル技術を活用したコミュニティスペースの利用促進
- 地域おこし協力隊によるデジタルデバインド対策講座や地域DXの取組強化
- 官民連携によるICTを活用した健康づくり
- 行政手続きの電子化による利便性向上

レジリエント

- 災害時に安心を提供できる拠点としてのコミュニティスペースの活用（蓄電機器の設置による非常用電源の確保）
- 交流機会の提供による地域コミュニティの強化

地域の活動拠点「みなのにち」



移住相談センター(みなのにち)は令和3年4月にオープンしましたが、コロナ禍の影響により十分活用できない状況にありました。また、コロナ禍以降、町民どうしや町外のかたとの交流の機会が減少しており、町内の活気が失われつつあります。これを打開するため、移住相談センターの機能を拡張してコミュニティスペースとして活用することで、多様な人財との関わりの中で賑わいの創出につなげるものです。